

海大歯第191号
令和元年8月8日

関係機関等の長 殿

国立大学法人北海道大学

大学院歯学研究院長 八 若 保 孝
(公印省略)

口腔機能学分野口腔生理学教室准教授候補者の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究院では、下記の要領にて口腔機能学分野口腔生理学教室准教授を公募することとなりました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮に存じますが、貴機関等の関係者にご周知くださいますとともに、適任者をご推薦賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 募集人員 准教授1名
2. 所 属 北海道大学大学院歯学研究院・口腔機能学分野口腔生理学教室
(主任教授：船橋 誠)
3. 専門分野 生理学・口腔生理学（神経科学，脳科学，分子生物学を含む）
4. 応募資格 学位（博士）取得者。対象分野で顕著な研究業績がある者。顎口腔を含む全身の生理機能に重点をおいた研究・教育を大学院および学部において積極的に行うことができ、教育経験のある方が望ましい。
5. 職務内容 (1) 大学院・学部専門教育及び全学教育の授業科目の担当
(2) 専門分野の研究
(3) 全学・学部・研究室などの管理・運営
6. 着任時期 令和2年2月1日以降のできるだけ早い時期
7. 試用期間 あり（3ヵ月）
8. 給 与 国立大学法人北海道大学職員給与規程又は
国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による

9. 勤務形態 専門業務型裁量労働制を適用
※1日に7時間45分労働したものとみなす
10. 健康保険等 文部科学省共済組合, 厚生年金, 労災保険, 雇用保険加入
11. 募集者の名称 国立大学法人北海道大学
12. 提出書類 下記の1～9の書類各1部と, 2～9をスキャナー等で電子化しそれぞれPDFファイルで保存した記録媒体 (CD, DVD, USBメモリ等)
- (1). 推薦書
 - (2). 履歴書 (写真添付) (別紙様式1)
 - (3). 教育等の業績
 - (4). 研究業績目録
 - (5). 主要論文別刷
 - (6). 研究助成金の受領状況
 - (7). これまでの研究概要 (共同研究等の実施状況を含む)
 - (8). その他の活動, 社会貢献等
 - (9). 教育, 研究に対する考え方

(提出書類の作成に際しては, 別紙記載上の注意事項を参考にしてください.)

13. 応募締切 令和元年9月30日(月)必着

14. 提出先

〒060-8586

札幌市北区北13条西7丁目

北海道大学歯学事務部庶務担当

電話 011-706-4313 (直通)

(注) 提出書類は書留とし, 封書表には「口腔機能学分野口腔生理学教室准教授応募書類在中」と朱書願います。

なお, ご送付いただいた書類および記録媒体は返却いたしませんので, 予めご了承ください。また, ご送付いただいた書類等は准教授選考以外には一切使用いたしません。

15. 照会先 口腔機能学分野・口腔生理学教室 教授 船橋 誠

電話 011-706-4230 (直通)

電子メール mfuna@den.hokudai.ac.jp

選考の過程において, ご来学の上面談, ご講演をお願いすることがあります。

※ 公募要領については,

本研究院ホームページ (<https://www.den.hokudai.ac.jp/jimu/koubo/>) 及び研究者人材データベースシステム (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) でもご覧になれます。

記載上の注意事項

<用紙はすべてA4版縦とする>

1. 推薦書

推薦書の様式は自由であるが、推薦者の所属・職名を明記すること。

2. 履歴書

- 1) 年齢欄には、令和元年9月30日現在の年齢を記載すること。
- 2) 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記載すること。
- 3) 学位欄には、() 書きで授与された大学名を併記すること。
- 4) 職歴欄には、所属の講座、診療科名等も記載すること。
- 5) 留学欄には、期間、受入施設名、国名、身分を記載すること。
- 6) 受賞等欄には、学会賞等の受賞について記載すること（本人筆頭のものに限る）。
- 7) 所属学会欄には、学会名及び役職名等を記載すること。

3. 教育等の業績（下記の項目に該当するもの、大学院時代からの業績も含む）

1) 講義

学部学生と大学院生の講義について、それぞれの担当授業科目名、担当内容（簡潔に）、担当年度（期間）、担当時間数を記載すること。また、講義において、教育効果を高めるために試みたことがあるときは、その内容も記載すること。

2) 実習

学部学生及び大学院生の実習について、それぞれの担当内容（簡潔に）、担当年度（期間）、担当時間数を記載すること。また、実習において、教育効果を高めるために試みたことがあるときは、その内容も記載すること。

3) 博士論文の指導状況

これまでに応募者が研究指導を行った博士論文について、著者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発行年（西暦）、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（始めと終わり）の順序で記載し、その後に応募者の指導内容（役割）を記載すること。なお、応募者の氏名が研究指導者として論文に明記されていないものであっても、応募者が実質的に研究指導を行った論文については、これに含めて差し支えない。また、原著論文と重複しても差し支えない。

4) 学生指導

学部及び大学院学生等の個別指導（クラス担任、学生相談、クラブ活動、留学生指導等）の時期及び内容を記載すること。

5) 委員会活動

大学外における各種委員会活動について、その時期（期間）及び委員会名とその委員会での役割を記載すること。

4. 研究業績目録

以下の順序で記入し、1) から6) の各項目別に通し番号を付すこと。また、記載はすべて年代順とし、本人の名前に下線を引くこと。

1) 著書

① 編著者の場合

編著者全員の氏名、発行年（西暦）、書名、発行社名、発行地、総ページ数の順序で記載すること。

② 分担執筆の場合

分担執筆者全員の氏名、発行年（西暦）、分担執筆部分のタイトル、編者名、書名、発行社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）の順序で記載すること。

2) 原著論文

著者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発行年（西暦）、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（始めと終わり）の順序で記載すること。また、原著論文のうち、レフリー制度をもつ論文については、通し番号を○印で囲むこと。さらに、英文原著論文については、**impact factor** のある論文とない論文に分け、論文の最後に、発行時の **impact factor** および応募時点での **citation index** を、（IF: , CI: ）のようにカッコ書きで付記すること（Clarivate Analytics 社の Web of Science Core Collection を用いて検索のこと）。

3) 総説・速報・その他の論文（商業誌等）

前記2) に準じて記載すること。

4) 特別講演・シンポジウム等

これらはすべて筆頭演者として招待されたものに限る。発表者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発表年（西暦）、発表タイトル、学会名等（抄録誌、巻、ページ）の順で記載すること。

5) 主な国内・国際学会発表

筆頭演者として発表したものに限り、前記4) に準じて記載すること。共同演者として発表したものについては学会名と数のみ記載すること。

6) 特許等

取得済・出願中の別を記載すること。

注1) 1) ～3) において、**h-index**（研究者が公刊した論文のうち、被引用数が **h** 以上であるものが **h** 以上あることを満たすような最大の数値）を記すこと。また、**impact factor** および **citation index** の合計も記すこと。

注2) 1) ～3) において、印刷公表されていない論文については必ず掲載証明書を添付すること。また、シンポジウムや **Proceeding** などの論文は3) に記載すること。

注3) 1) ～3) において、申請者が **corresponding author** として掲載された論文・総説の頭に*印などを付けること。

5. 主要論文別刷（主なもの10編，電子複写でも可）とその要旨

別刷を提出する主要な論文10編について，著者全員の氏名（欧文の場合は，名はイニシャル），発行年（西暦），論文タイトル，雑誌名，巻，ページ（始めと終わり）の順序で記載し，その後にそれぞれ200字以内の要旨を添付すること．

6. 研究助成金の受領状況（これまでに受領したものすべて）

これまでに代表として受領した科学研究費補助金等の研究助成金の受領状況について，受領年度（期間），研究助成金の名称，課題番号，研究課題名，受領金額を記載すること．

7. これまでの研究概要（これまでに実施したものすべての共同研究等の実施状況を含めて）

これまでの研究概要について共同研究の実施状況を含めて，実施年度（期間），研究施設名，研究課題，応募者の役割分担（簡潔に）を記載すること．（1000字程度）

8. その他の活動，社会貢献等（公開講座，テレビ出演・新聞掲載，生涯研修等）

応募者が自ら行ったものについて，題目，場所・放送局・新聞社・主催者等，年月日の順に記載すること．

9. 教育，研究に対する考え方（今後の方針を含めて）

口腔生理学担当准教授として，考えるところを，以下の項目に従って記載すること．

（各1000字程度）

- 1) 教育について
- 2) 研究について

以 上